

お年寄りの笑顔が見たいから 川島地区女性会が給食 30 周年の集い

川島地区の女性会による給食サービスが開始から30年を迎えたのを機に、6月29日、川島公民館で「30周年の集い」が開催されました。

川島地区女性会による給食サービスは昭和52年に始まりました。現在では給食サービスが全国で広く行われていますが、川島地区女性会が先駆的な存在です。同会ではこれまでに国の福祉奨励賞や県知事賞など数多くの賞を受賞しています。渡辺直子会長は「先輩たちが築いてきたこの会をこれからも続けていきたい。そして、若い後継者を育てていくことが私たちの使命です」と力強く話してくれました。



輪投げが人の和をつくる 下館輪投げの会が七夕大会を開催

下館輪投げの会（大和田渉代表）主催による七夕輪投げ大会が、7月7日、市福祉センターで開催されました。

6回目となる今大会には子供たちから高齢者までの3世代約200人が参加し、楽しいひとときを過ごしました。「輪投げの良さは簡単に誰でもどこでもできるところ。輪投げに参加するとみんなとても元気になる。市民が元気になれば、まちも自ずと元気になりますね」と代表の大和田さん。同会ではさまざまなイベントにも参加し輪投げの普及を行っています。みなさんもぜひ輪投げ大会に参加してはいかがでしょうか。

懐かしい音楽でファンを魅了 コンサート「甦る青春の日々」

市民バンド「マインド40」と「クラッシュヤーズ」のみなさんによる恒例のコンサート「甦る青春の日々」が、7月7日、明野公民館大ホール「イル・ブリランテ」で開催されました。

13回目を迎えた今年も楽しいトークや懐かしい歌声を披露しながらグループサウンドやベンチャーズのエレキサウンドなどを力強く演奏。

青春時代を思い出させる名曲の数々に会場は大いに盛り上がり、年に一度の演奏会を楽しみに来場したファンからは大きな拍手が贈られていました。また、来場者の支援によって集められた募金は、市の社会福祉協議会に寄付されました。



楽しく歩いて健康づくり

大田地区で恒例の歩く会を開催

7月8日、大田小学校の児童約200人と大人約150人が参加して毎年恒例の「歩く会」が開催されました。これは、大田地区健康推進員会（会長 渡辺誠一さん）が主催し、約20年前から行っているもの。参加者は3km・4km・6kmのコースに分かれ、大田小学校を出発。大谷川沿いの自然を観察したり、ごみ拾いをしたりしながら楽しく歩きました。渡辺会長は「健康づくりと地域の環境美化のために、年2回実施しています。今回も多くの方に参加していただけて良かったです。子どもたちは、「友達と一緒に歩いて楽しかったよ」と話していました。



「◎」や「の」の集まりが素敵な絵に ギャラリーおっこの室十周年記念展

7月2日から8日まで、大町の「ギャラリーおっこの室」で、オープン10周年を記念して「おっこの作品十年展」が開催されました。このギャラリーでは、渡辺良子さんがタイプライターのキーを足で打って描いたタイプアートを展示しています。今回は、最新作の「チューリップ」を含む32点を展示。訪れた人は、「色づかいがとっても素敵。見ているだけで心が和みます」と作品に見入っていました。渡辺さんは、「誰にも経験できない楽しい10年間でした。これからもどんどん描いて、みなさんに愛されるおっこになろうと思います」と語ってくれました。

子供たちをみんなで育てる

関城子育てひろばで「夏祭り」

子育てアドバイザーによる助言や母親同士の交流、情報交換の場として人気の「関城・子育てひろば」では7月13日、関城グリーンスポーツハウスで「夏祭り」を開催しました。現在、子育てひろばに参加しているのは24組の親子。お祭りでは、子育てアドバイザーのみなさんが作った手作りの御興やヨーヨー釣り、ボールを使ったミニ運動会などを楽しみました。参加者のお母さんは「1人目の子どもで初めてのことはわかり。ここに来るといろいろな情報交換ができるし、よその子の成長も分かります。こういう場所は本当にありがたいです」と話していました。

